

事業評価票

152	局事業の広報業務委託 (港湾局総務部／一般会計)	事業開始	昭和 33 年度
		事業終期	平成 33 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか ○ 東京港は、都民を始めとする首都圏4,000万人の生活と経済活動に必要な物資を、国内外から迅速にかつ安定的に供給する一大物流拠点として、重要な役割を果たしている。 ○ 局事業を都民や事業者をはじめ国内外に情報発信することで、世界有数の国際貿易港である東京港の役割について、理解を促進する。 ○ また、客船や貨物等の寄港先としての東京港の認知度向上を図る。	3 どのような課題や問題点があったか ○ 物流拠点である東京港の認知度を向上させるための取組を進める一方で、東京港の安全対策のPRは定例的に実施していなかった。 ○ そのため、津波・高潮から都民の生命・財産を守る海岸保全施設の認知度は低く、東京港は津波、高潮に脆弱だという認識も未だに存在している。 ○ これまで、防潮堤や水門などの海岸保全施設の見学会をスポット的に実施したが、好評であった。
根拠法令等	

2 どのように取り組み、どのような成果があったか ○ 小・中学生向けの社会科見学船の運航を行い、東京港の役割を紹介した。 ○ 外国人向け（一般及び在日外国商工会議所メンバー）に視察会を実施し、海外での東京港の認知度向上を図った。 ○ 初入港船歓送迎行事を実施し、伝統芸能の演奏などでセレモニーを行い、船舶を歓迎するだけでなく、港のにぎわいを創出した。 ○ また、ホームページの運営やパンフレットの作成により、局事業全般について、多くの人に情報提供を行った。	4 局として、事業をどうしていきたいか 拡大・充実 <u>見直し・再構築</u> 移管・終了 その他 ○ 東京港の安全対策の認知度を向上させるため、都民等に対し、定例的な取組を行う必要がある。 ○ 東京港の防災拠点であり、津波や高潮発生時には、水門の閉鎖等を行う高潮対策センターの見学や、運河から、防潮堤や水門などの海岸保全施設の見学を行う。 ○ 一方で、既定の広報経費を実績に応じ精査することで、必要経費の見直しを図る。																		
<table border="1"> <tr> <td>歳入</td> <td>27年度決算額</td> <td>— 千円</td> <td>歳出</td> <td>27年度決算額</td> <td>40,144 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>28年度予算額</td> <td>— 千円</td> <td></td> <td>28年度予算額</td> <td>44,925 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>29年度見積額</td> <td>— 千円</td> <td></td> <td>29年度見積額</td> <td>45,493 千円</td> </tr> </table>	歳入	27年度決算額	— 千円	歳出	27年度決算額	40,144 千円		28年度予算額	— 千円		28年度予算額	44,925 千円		29年度見積額	— 千円		29年度見積額	45,493 千円	
歳入	27年度決算額	— 千円	歳出	27年度決算額	40,144 千円														
	28年度予算額	— 千円		28年度予算額	44,925 千円														
	29年度見積額	— 千円		29年度見積額	45,493 千円														

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか ○ 従来までの広報業務では、幅広い層をターゲットに東京港全体に関する広報活動を実施しており、東京港に対する認知度の向上、理解の促進を図ってきた。 ○ 一方で海岸保全施設の役割は都民に十分に知られているとは言えず、海岸保全施設の重要性について広く理解を促進させる取組を推進する必要がある。
--

6 29年度予算で、どのように対応したか 拡大・充実 <u>見直し・再構築</u> 移管・終了 その他 ○ 高潮対策センターの見学会の実施など、海岸保全施設のPRに特化した広報業務を新たに展開していくことで、海岸保全施設の役割が広く認識され、施設整備等の都事業に対する理解の促進が期待できることから、要求額のとおり計上する。						
<table border="1"> <tr> <td>歳入</td> <td>29年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>29年度予算額</td> <td>45,493 千円</td> </tr> </table>	歳入	29年度予算額	— 千円	歳出	29年度予算額	45,493 千円
歳入	29年度予算額	— 千円				
歳出	29年度予算額	45,493 千円				